

# 一般質問

5名が登壇 市政を問う  
\*この一般質問は6月12日に行われたものです。

## 水産業の六次産業化について 養殖事業について



曾根正浩

**問** 水産業の六次産業化をどのように考えているか

**答** 地元の水揚げされる豊かな水産資源を利用し、新たな付加価値を生み出すことは、漁業の振興を図る上で大変意義があることと受け止めております。

**問** ながら市場西側の市有地を利用した加工場は考えられないか

**答** 市有地を利用した加工場の事業実施にあたっては、漁業者と加工や製造、小売、観光などの事業者が連携し、事業内容やリスクなどについて認識を共有することが重要なこと

と考えております。



貯木場跡地

**問** 貯木場跡地での養殖業の考えは

**答** 養殖場として活用するためには、水質を管理する設備や感染症対策など、技術的な問題もあると認識しております。

**問** 陸上養殖の可能性を考えているか

**答** 21年度から22年度にかけて、クエの陸上養殖事業の検討を行った経緯があります。養殖事業が水産業の振興並びに地域振興に寄与することが、重要であると認識しております。加工や製造及び養殖などの事業を展開するためには漁業協同組合など、水産関係者を含めた中で検討していくことが好ましいと考えております。

**問** 御前崎茶の「販路拡大場所」について、市長の築き上げたパイプを最大限に發揮し、役所、学校、企業などにターゲットを絞り活動すべきと思われませんか

**答** 緑茶文化の薄い北海道・東北地方をターゲットに販路拡大を推進してまいります。また、低迷気味の茶業界の意識高揚を図るよう検討しております。

## 茶の販路拡大・消費拡大の 具体策について



松下久己

**問** 御前崎茶の「販路拡大場所」について、市長の築き上げたパイプを最大限に發揮し、役所、学校、企業などにターゲットを絞り活動すべきと思われませんか

**答** 緑茶文化の薄い北海道・東北地方をターゲットに販路拡大を推進してまいります。また、低迷気味の茶業界の意識高揚を図るよう検討しております。

**答** 学校給食センターでは、御前崎産のお茶を取り入れた献立を提供しています。また、各学校では市内茶業関係者から寄贈されたお茶を給食時に飲用しております。

**答** 営業が最重要と認識しており、過去においても一定の成果があったものと確認しております。トップセールスを継続し、事業展開を実施してまいります。

**問** 「販路拡大」には営業が最重要と思われる。健康機能を前面に出し、ティーパックや粉末茶などの人気商品を売込むべきと思われるか

**答** 現時点では考えておりません。

**問** 茶葉を丸ごと粉にし、飲用する「家庭用製茶器」を学校へ導入する考えは

**答** 現時点では考えておりません。

## 太陽光発電設備設置による 市内経済の活性化について



齋藤 洋

**問** 太陽光発電設備の広域避難施設及び御前崎支所への設置の考えは

**答** 広域避難所は、小学校や中学校の体育館、公民館など20施設を指定してありますが、避難所

機能としての電源確保は発電機で対応する計画のため、太陽光発電設備の設置は予定していません。御前崎支所への設置も同様です。なお、発電機の燃料容量は、72時間分です。

**問** 家庭用太陽光発電システム設置に対する補助金増額の考えは

**答** 現在、市の補助金は1キロワット当たり3万円（上限12万円）です。近隣市と比較しても、充実した金額であると考えますので、現時点で金額改訂は考えておりません。

**問** 平成26年5月に施行された「農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律」の対応状況は

**答** この法律の中には、市町村による協議会の設置や基本計画の策定などが盛り込まれておりますが、現在、国のマスタープランやガイドラインなどの詳細が正式に示されていないため、今後の動向を注視していきたいと考えております。

## 核変換技術開発について NINBY（ニンビー）現象



大澤博克

**問** 中部電力原子力安全技術研究所は、原子力に係る特定テーマ公募研究において「加速器駆動システムによる核変換処理の実現に向けた要素技術の基盤構築」を採択し、研究費1億円を上限とした研究を開始した。このような技術開発・研究に関する市の見解は

**答** 原子力発電の分野で放射性廃棄物の処理問題は最重要課題です。この研究は京都大学原子炉実験所の准教授が行うもの

**問** NINBY（ニンビー）現象は、市内でも過去に問題提起されてきたが、問題解決に対する基本的な市の考えは

**答** 市として必要不可欠な施設については、住民の皆様はその必要性を説明し、生活環境や健康への影響に対する懸念、情報不足に対する不安や不信を一つ一つ解決することにより、理解していただくことが重要と考えます。事業成功には、行政と議会の協力が必要だと考えています。

NINBY（ニンビー）not in my backyard（私の裏庭には作らないの意）  
必要性は認めるが、居住地の近くに作られるのは困るという考えを表す言葉。

**問** 避難計画は国・県と連携して策定するというのが話だが、その進捗状況は

**答** 避難対象人口が多いため、避難先の確保が遠方、広域になるため時間がかかっています。早期策定を県に要望し、県計画策定後に市の広域避難計画を策定してまいります。

**問** 原子力災害整備事業とは、具体的にどのような事業か

**答** 緊急時に直ちに避難要援護者などを一時的に屋内退避させる施設に、放射線防護対策を講じるための事業です。

**問** 大飯原発再稼働差し止め判決の主文を、市長はどのように受け止めたか

**答** 判決は、「大飯原発の安全技術は確たる根拠のない楽観的な見通し

**問** 訪問・通所介護を現在の予防給付から外すことは、サービスの後退ではないか

**答** 全国一律の予防給付を見直し、地域の実情に合ったサービス事業に移行することを旨とするので、サービス水準が低下しないようにしてまいります。



家庭用太陽光発電システム